令和4年度 事務事業評価表 (令和3年度実績

12		T	~ , ,,, ,	未可叫化(יד כ חוינו		~ 12 ~	,						
事	务事	業名	シティプロモーション事業費								シティプロモーション課				
基	分	分野 9都市経営							事業期間	平成28年度 ~					
本	基	本施策	1 まちの魅力の	向上			会計種別								
情報	推	推進施策 1 シティプロモーションの推進							実施計画	該当	総合	戦略	該当		
	周南市民及び市外の出身者、勤務や通学・居住経験、ゆかりのある人、周南市シティブ)替同者、協力	者。				
	\$	寸 象													
			シティプロモーション活動を通じて、シビックプライドの醸成及び関係人口の創出を図り、本市の活性化や移住定住促進につなげ、持続可能なまちづくりに寄与												
事	Ā	意 図	する。												
業															
概			市民と連携して、シティプロモーションに取り組むことで、関係人口の創出・拡大やシビックプライドの醸成が図られる。												
要).	は 果													
			> = , - fp = -> -> :												
	_	F段	シティプロモーションスペシャルサイトやSNS等のプラットフォームを活用し、関係人口拡大のための効果的な情報発信。市民、企業・団体、行政が連携した 取り組みなどを行う。												
	7	F FX	3Xン利虹のグなCで1J ノ。												
				指標名				単位	H31年度実績	R2年度実	績 R3年	度実績	R4年度見込		
指			市公式SNS	(フェイスブック・ツイッター		目標値		件	14790	117845		0202	122606		
標	活動指標		等)フォロワー数		実績値		件 115534		112155	11:	2250	-			
			13, 21. 2			目標達成度		%	781.2	95.2	95.2 93		-		
			(単位:千円)	平成30年度決算	平	平成31年度 決算		令和2年度決算		令和3年度決算		令和	4年度 予算		
	/ -	タルコス	スト	35,046		15,714			32,231		29,663		35,198		
		事業費		15,952	1,555			15,774	12,190			17,085			
		1336	国庫支出金	0	0			0	0			0			
		إلجا	県支出金	0	0			0	0		0				
		10-1	地方債	0			0		0		0		-		
ス		() ()	受益者負担	0	0			0	0			0			
1			その他	175			40		10,000		10,000		10,000		
			と	15,777				5,774		2,190		7,085			
	人件費			19,094				16,457		17,473		18,113			
		正職		19,094	14,159			16,457	17,473		18,113				
			战員以外	0 (0)	0			(0)	0						
人	īFB	戦員	(人)	2,60		(0) 1.95			2.30	2.46		2,55			
		城員以久	,	0.00		0.00			0.00	0.00			0.00		
			可以環境 可以環境	3.30		0.0			0.00				0.00		

周南市シティプロモーション基本方針やPRマニュアルを平成28年度に作成。平成29年1月より市の愛称を活用したプロモーション活動を開始したが、令和元年7月 に廃止する。

現状の周辺環境

辺 令和2年4月より、新たなシティプロモーション事業として、市民ワークショップの開催、ロゴマークデザインの作成、関係人口拡大のためのプラットフォームの構築に取り組ん 環

境 今後の予想される周辺環境

関係人口100万人ネットワークの構築に向けて、市民と連携しながら関係人口の創出・拡大やシビックプライドの醸成を図るためのシティプロモーションに取り組む。

	評価項目					評価	評価の理由					
	妥_	1. 市位	市の関与(税金支出)			В	市民や市ゆかりの人などと共にシティプロモーションを推進することで、関係人口の新たなつながり					
	当性	2. 事務	务事業	の目的(対象・意図)		Α	を構築し、移住定住を推進する。 					
	111	3. 事務	務事業の目標(活動指標等)			В						
	_	4. 計画	. 計画の実施状況			В	シティプロモーションスペシャルサイトや市公式SNSでの市の魅力や情報の発信。市民参加					
	有効	5. 目標	. 目標(活動指標等)の達成度			В	のシティブロモーション企画などを実施した。 					
評	性	6. 上位	上位施策への貢献度			В						
価	'-	7.事第	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み			В						
	効	8. コス	8. コスト削減へのさらなる取組み			Α	市民との連携を視野に入れて、民間委託の手法を見直して実施している。					
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討				Α						
	性	10.これまでの実施手段				В						
	総	関係人口の創出・拡大と市認知度の向			向上、シビ	ごックプライド	での醸成を図り、持続可能なまちづくりを進めていく上で、当該事業を推進していく必要がある。					
	合評	В										
	今後	今後の実施方向性 維持			100万人ネットワークの構築に向けて、その核となるプラットフォームにおいて、まちづくりの力となる関係人口の輪を広							
7.5	成果	方向性		成果上昇		がる取り組みを展開し、関係人口の創出・拡大、市認知度の向上、シビックプライドの醸成を図る。						
革	コス	コスト方向性		コスト維持								
	76### ("A L			44.田北州はマナマ4.)								

改革効果(どのような効果が期待できるか)

1. シビックプライドの醸成 2. 関係人口の創出・拡大 3. まちづくり活動の充実

THE TANTON INC.														
事	务事	業名	頑張るふる	さと応援事業費					担当所属	シティプロモ	イプロモーション課			
音	7 7	野	9都市経営		事業期間	平成20年度 ~								
本情	基	本施策	3 効率的かつダ	効果的な行政マネジメント		会計種別								
報	推	進施策	4 積極的な財源の確保					実施計画		総合	鈛略			
			周南市民を含む国内の住民、団体											
	3	寸 象												
			自主財源の確保、特産品等の P R など本市のシティプロモーション											
事	Ā	意図												
業														
概			・令和2年度個人寄附件数(ふるさと納税)2,003件。・令和3年度個人寄附件数(ふるさと納税)2,383件。											
要	J.	成 果												
			> 7 1 1 64 TH #11 FF											
	_	E EN		・ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保と市のPRを行う。・各界で活躍する本市ゆかりの方を「周南ふるさと大志」に任命し、市の知名度アップに協										
	7	手 段	力を得るとともに、助言等をまちづくりに活かす。 ・本市出身者が集う団体に対し市政報告やPR等を行い、市政に関心を持ってもらい、協力を得る。											
						単	位	H31年度実絹	R2年度実	績 R3年/	隻実績	R4年度見込		
指標		動指標	頑張るふるさと応援寄附金(ふるさと納		目標値	値		3600	2500	25		2500		
	活		税)受入件数(個人)		実績値		人 2108		2003 2383			-		
			1707 27 111 20	(III)	目標達成度		%	58.6	80.1	95	.3	-		
			(単位:千円)	平成30年度決算	平成31年度 🤅	模	令和2	年度 決算	令和3年度決算 令		令和	和4年度予算		
		-タルコン		41,330	41,7	790	35,405		44,910			54,752		
		事業費		36,924	36,707		30,039		39,370			48,004		
			国庫支出金	0		0	0		0		0			
			県支出金	0	(0		0			0		
			地方債	0	+			0	0		0			
ス		200	受益者負担	0		0		0		0		0		
٢			その他	0		0		0		0		0		
			対源	36,924	36,7			30,039	39,370			48,004		
		人件費 正職		4,406 4,406	5,08			5,366	5,540 5,540			6,748 6,748		
			W.貝 説員以外	4,400	5,0	083		5,366 142		233				
			以見以7 日業費集計済分)	(0)		(0)		(142)		(233)				
人	正		(人)	0.60	0.70		0.75		0.78		(288)			
	正耳		小 (人)	0.00	1.00		0.25		0.25		0.25			
	開	治時の周	司 辺環境											
	平石	520年度	から「ふるさと周南広	援寄附金川ふるさと大志し	平成21年度から「居	南志民	制度を創	創設(今和3年度	「廃止)。平月	26年度から	1万円以	トの寄附者に		

平成20年度から「ふるさと周南応援寄附金」「ふるさと大志」、平成21年度から「周南志民」制度を創設(令和3年度廃止)。平成26年度から1万円以上の寄附者に対し、特産品のPRを目的として返礼の品を送付。平成29年度下期からは寄附情報のとりまとめや返礼品の拡充・配送業務を専門業者へ委託。

現状の周辺環境

辺

環境

令和元年6月より基準を満たす自治体を総務大臣が指定する指定制度が導入され、「ふるさと納税の対象となる地方団体」として本市も指定された。

今後の予想される周辺環境

新型コロナウイルス感染症の影響については、なかなか見通せないが、制度開始依頼、ふるさと納税の受入件数は全国的にも年々増えている。

評価項目				評価の理由						
팢	1. 市の関	与(税金支出)	Α	返礼品を通じた本市の特産品等のPRと財源の確保を図るという目的が達成されれば、市のシ						
当的	2. 事務事	業の目的(対象・意図)	Α	ティプロモーションの推進につながる。						
11	3.事務事	業の目標(活動指標等)	Α							
=	4. 計画の	実施状況	Α	返礼品や参加事業者の拡充、PRの促進などで、順調に進めることができた。						
	5. 目標(活動指標等)の達成度	В							
	6. 上位施	策への貢献度	Α							
	7. 事業成	果の向上へのさらなる取組	ን B							
効	8. コスト削	減へのさらなる取組み	Α	寄附受付サイトの多サイト化の実施、返礼品充実のための新規出店者の増数、事業全体の						
率	9. 類似事	業との統合・代替の検討	Α	ーコーディネートなど、予定通り、順調に進めている。 						
性	10. これま	での実施手段	Α							
総	地方	にとって有意義なふるさと納税制	度の活用を図る事美	用を図る事業で、円滑に執行されており一定の成果を上げている。コロナ禍の中で、制度にも影響が及ぶ中、						
	人	を見極めながら適切な執行にあ	たるとともに、工夫を	凝らして事業を推進していく。						
 										
			新山)返礼品出品	い返礼品出品事業者の開拓や受付サイトの更なる拡充を図り、寄附者の増加や寄附額の増額につなげていく。						
		\$1-77 E	7710 V X21000000							
成果	方向性	成果上昇								
コスI	卜方向性	コスト増大								
	率性 総合評価 今 成	2.事務事 3.事務事 4.計画の 5.目標施 7.事某人則 9.類ない 10.これま A	1. 市の関与(税金支出) 2. 事務事業の目的(対象・意図) 3. 事務事業の目標(活動指標等) 4. 計画の実施状況 5. 目標(活動指標等)の達成度 6. 上位施策への貢献度 7. 事業成果の向上へのさらなる取組み 数 8. コスト削減へのさらなる取組み 9. 類似事業との統合・代替の検討 性 10. これまでの実施手段 総 合評価 今後の実施方向性 拡充 成果方向性 成果上昇	3 事務事業の目的(対象・意図) A 4 計画の実施状況 A 5 目標(活動指標等)の達成度 B 6 上位施策への貢献度 A 7 事業成果の向上へのさらなる取組み B 数 3 コスト削減へのさらなる取組み A 9 類似事業との統合・代替の検討 A 性 10 これまでの実施手段 A 総合評価 本 地方にとって有意義なふるさと納税制度の活用を図る事態状況を見極めながら適切な執行にあたるとともに、工夫を 方にとって有意義なふるさと納税制度の活用を図る事態ないる。 大沢を見極めながら適切な執行にあたるとともに、工夫を 成果方向性 拡充 新しい返礼品出品 成果方向性 成果上昇						

改革効果(どのような効果が期待できるか)

ふるさと納税は、自主財源の確保だけでなく、シティプロモーションとして周南市を応援していただけるための一つの形であることから、シティプロモーションと関連付けしながら取り 組み、関係人口の創出につなげる。